障害者社会参加推進事業の今後の展望
～障害理解を広げるために～
全体会をオンライン開催

事例発表の模様

阿部会長とご講演をいただいた川部室長

2月26日（水）、AP東京八重洲（東京都中央区）からのオンライン配信にて、中央障害者社会参加推進センター主催による「令和6年度社会参加推進事業実施団体 全体会 障害者社会参加推進事業の今後の展望～障害理解を広げるために～」が開かれ、84名が参加しました。

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
（中央障害者社会参加推進センター）
発行人　阿部　一彦
東京都豊島区目白３丁目４の３
デァダンクビル４階
ＴＥＬ 03－3565－3399㈹
ＦＡＸ 03－3565－3349
https://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of Organizations of the Disabled Persons（JFOD）
年間購読料　正会員１部　３００円
非会員１部　１０００円

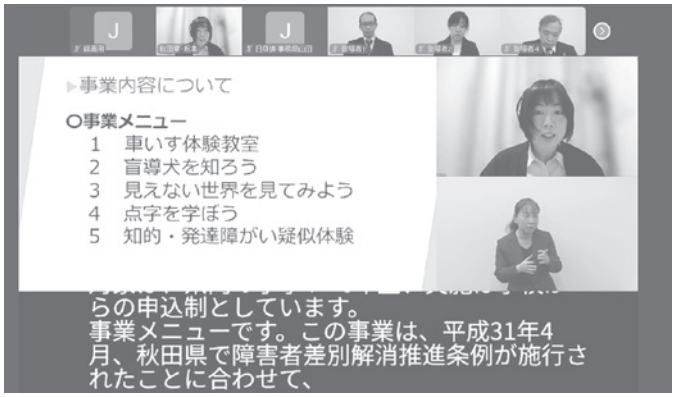
全体会は、令和４年度より全国を６ブロックに分けて、人的ネットワークの構築や地域での取組事業の把握など実施してきたブロック連絡会議の取組を踏まえ、今後の障害者社会参加推進事業の展望について考える機会とするため、初めて開かれました。

プログラム前半には、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室の川部勝一室長を講師にお招きし「障害者を取り巻く状況と中央障害者社会参加推進センターに期待すること」をテーマにご講演をいただきました。また事例発表として「障害理解の促進に関する各団体の取組」をテーマに３団体から取組事例を発表いただくとともに、橋井正喜会長（名古屋市身体障害者福祉連合会）、伊藤美智子事務局長（三重県障害者団体連合会）の指定発言や質疑応答を交えながら行われました。進行は阿部一彦会長（中央障害者社会参加推進センター）、オブザーバーとして川部室長にご参加いただきました。プログラム前半の最後に、浅香博文部会委員（中央障害者社会参加推進協議会）より総括をいただきました。

後半は、全国の障害者社会参加推進事業実施団体からの参加者が２つのグループに分かれ、２つのテーマ（①障害者理解の促進に関する取組について②より多くの地域の人とつながるために）についてグループワークを行いました。自団体で行っている取組内容や課題について、また他団体の取組に対して質問するなど、地域間の垣根を超えて闊達な意見交換を行い、情報交流を深めました。

参加者からは「障害者を取り巻く環境の説明がわかりやすく、参考になった」「事例発表が素晴らしかった。本県でも取り入れることができることから、取り入れていきたい」といった声が聞かれました。

◆事例発表
坂本香織さん（秋田県障害者社会参加推進センター）
テーマ：秋田県小中学校向け障害理解教室の取組
池田美保さん（鹿児島県障害者社会参加推進センター）
テーマ：ユニバーサルシネマ会とeスポーツ体験会
保坂　晋さん（横浜市障害者社会参加推進センター）
テーマ：障害当事者「語りべ塾」等の取組



オンライン配信の様子